

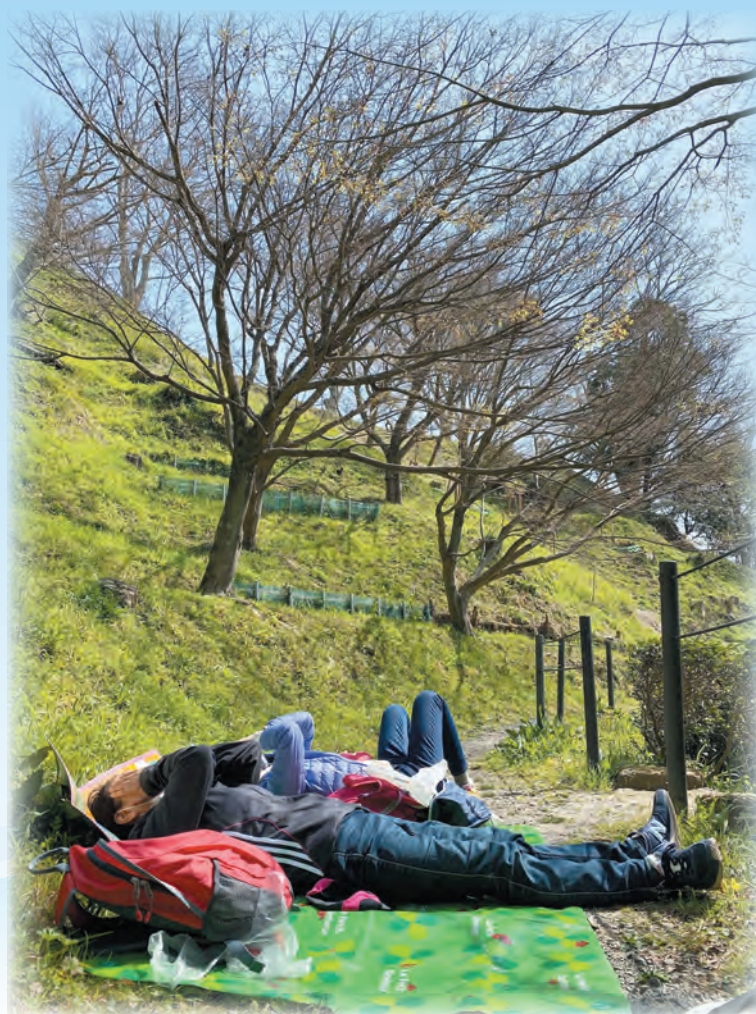
認知症地域支援推進員

# 活動ガイド

エッセンス版

～もっと楽に、楽しく、活躍を！～

2023年3月版



TOKYO  
DCRP

社会福祉法人浴風会

認知症介護研究・研修東京センター

# 認知症地域支援推進員が、地域を舞台に活躍しています

～ 小さなまちでも、大きなまちでも～

## 本人視点、本人の声、ともに、希望を

人・場・こと・事業をつなげながら

啓発・  
本人発信支援



予防  
(備え)



医療・ケア・  
介護サービス・  
介護者への  
支援



認知症バリア  
フリーの推進・  
若年性認知症の  
人への支援・  
社会参加支援



## 目指すは、わがまちなりの“地域共生”

認知症地域支援推進員活動情報集を、どうぞご覧ください。





# もっと楽に、楽しく活躍していくために

【全国調査結果より】2022年9～10月に実施

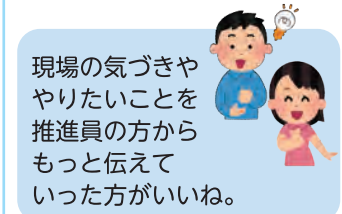
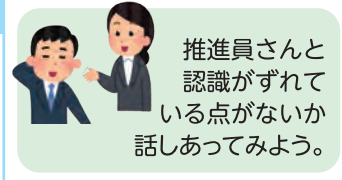
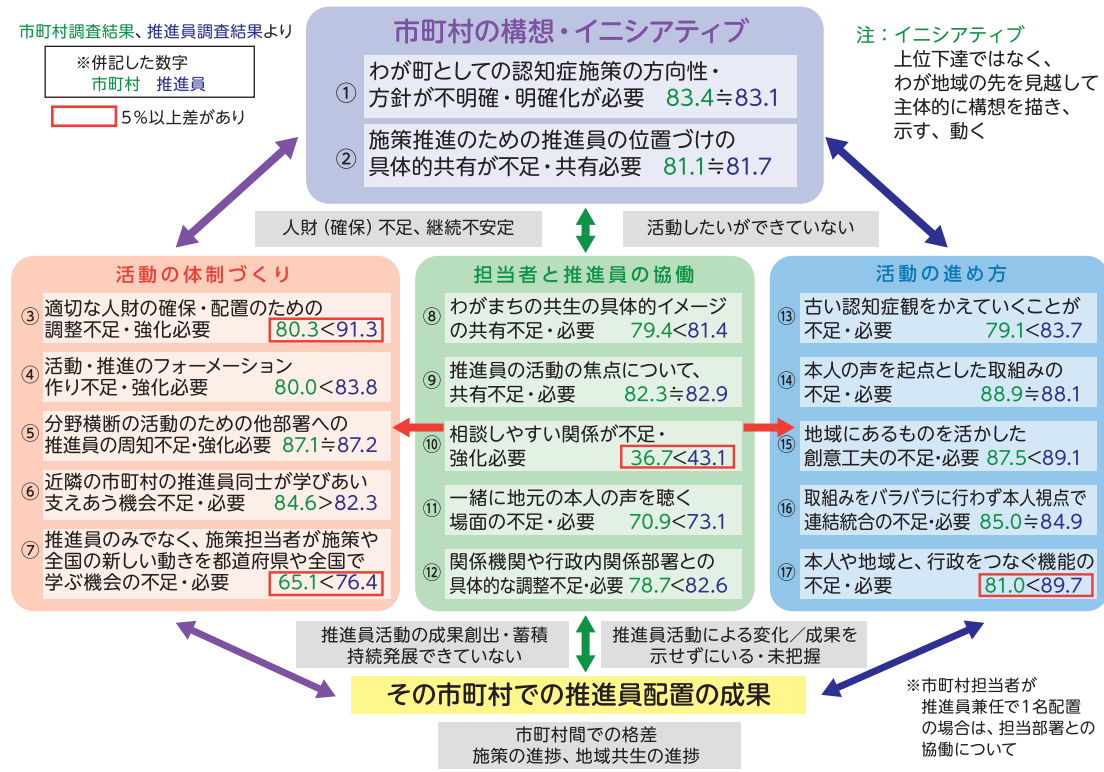
## ◆市町村調査結果：市町村担当者 1,098 (63.0%)

推進員の取組みを通じて、認知症があってもなくても同じ地域でともに生きる（地域共生の）意識や姿が広がってきている	52.9%
認知症施策の推進のために推進員は重要な存在であり、推進員の機能強化を進めていきたい	77.1%

## ◆推進員調査結果：推進員 3,690 (46.0%)

推進員活動は、やりがいがある	70.9%
推進員活動を今後も続けていきたいが、負担感や雇用形態、法人の意向等で、続けていけないかわからない	40.8%
推進員としてやりたいことがあるが、できていない	項目により2～6割

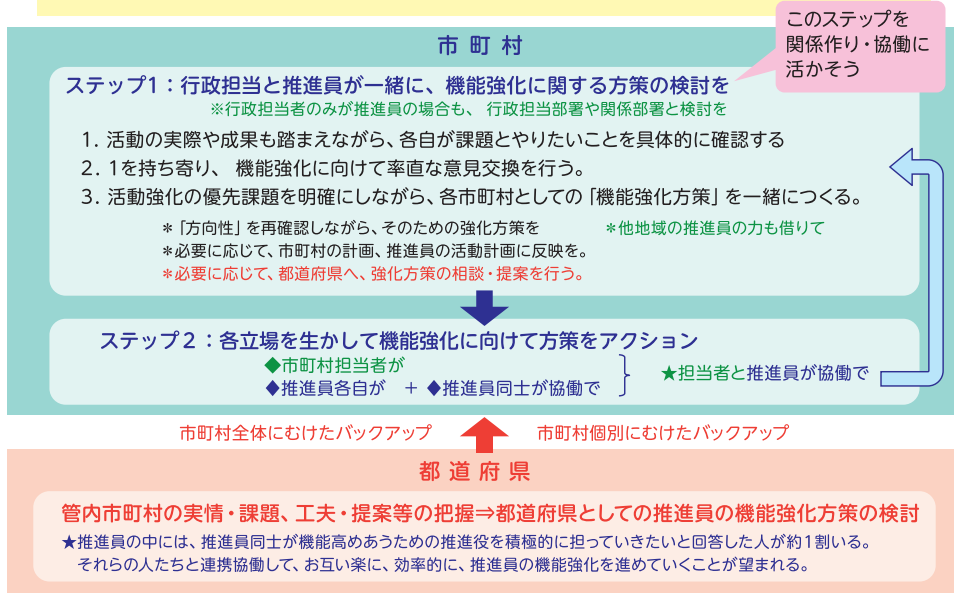
### 推進員の機能強化に関する課題の整理（課題マップ）



★市町村の人口規模に関わらず、課題の関連構造が見られる。推進員が活躍していける伸びしろが大きい。

### 自治体として、推進員が活躍しやすくなる方策を推進員とともに検討し実行を（提案）

- 推進員の機能強化に関する課題が多岐にわたっており、課題への部分的・単発的な対応を行っても、実質的な機能強化が図られにくいことが予想される。
- 各市町村の行政担当者と推進員（全員）が、以下のようなステップを辿りながら機能強化を協働で促進し、推進員が活躍していける環境を整備していくことが望まれる。
- 各都道府県は、市町村の実情・提案等を把えて、機能強化促進のバックアップを



- ・大切なことは、とてもシンプル
- ・手がかりは、本人の声、地域の声の中にあります。
- ・認知症というより、人と暮らし、わが町をしてみると、すでに地域共生の芽がたくさん！
- ・難しく構えずに、まちにあるものを大切に、伸びやかに、自由で楽しい企画を出し合おう。
- ・できることからアクションを。息長く、続けていこう！



## 本人からのメッセージ

- 私たちからみて、身近な人であってほしい。
- 推進員さんに会えて、本音を出せるようになった。  
私たちの声を、地域の人たちや医療、介護、行政に、  
届けてほしい。
- 特別なことはிரない。あたりまえのことをふつうに  
続けられるまちを、いっしょにつくってほしい。
- 不安はあるけど、推進員さんがいつも前向きで  
楽しそうなので、救われる。何とかなるって思える。  
いつも、ありがとう。
- 異動しても、その先で活躍してほしい。

各地のご本人、ご家族、認知症地域支援推進員、関係者のみなさま

写真・体験の共有を本当にありがとうございました。

岩手県矢巾町 新潟県湯沢町 東京都品川区 神奈川県大和市 静岡県藤枝市  
静岡県富士宮市 和歌山県御坊市 鳥取県鳥取市 香川県綾川町 鹿児島県大和村



すいしんいんネット

推進員同士の自主的なネットワーク



DCネット

認知症地域支援推進員ページ